

令和6年度 第1回 住吉区総合教育会議 会議要旨

1 日 時 令和6年8月29日(木) 午後2時00分から午後3時30分

2 場 所 住吉区役所1階 第1会議室

3 出席者

(委 員)

浅田委員、伊井委員、糸井委員、桶土井委員、尾畑委員、行天委員、
島谷委員、高柳委員、長吉委員、東山委員、松本委員

(区役所)

区担当教育次長、区教育担当部長、関係課長・課長代理

(オブザーバー)

苅田北小学校長、住吉中学校長

4 議 題

(1) 令和6年度住吉区における主な教育・子育て関連事業

(2) 情報提供

- ・「福祉施策ガイドブック」について
- ・はぐくみネット事業について

5 議論のポイント

(1) 住吉区における主な教育・子育て関連事業を説明し、委員から意見を聴取した。

- ・「スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置」「こどもサポートネット事業」のSSWについて、緊急時の迅速な対応、就学前から小学校入学後の切れ目のない支援など、SSWが関わることのできる支援の範囲について質問をいただいた。
→「スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置」については、我孫子南中学校を拠点校として1名配置し、校区の小学校も含めて相談に応じ各機関と連携を図っていることを説明した。
- 「こどもサポートネット事業」のSSW3名については、大阪市の独自事業のため、基本は保護者の同意を得て支援を開始していること、また、福祉サービスや子ども食堂等の地域資源につなぐことが目的であるため、子育て相談室内に配置して連携を行っていることを説明した。
- ・「学校園補助スタッフの活動支援」学校園教育活動支援事業について、「教員の負担軽減につながっていると考えられるので、もっと予算を拡充すればいいのでは。」との意見をいただいた。また、小学校長からは、教育委員会事務局採用の特別支援教育サポーター、学びサポーターとの兼務が出来ないため、人材の確保が課題であるとの意見をいただいた。

(2) 「福祉施策ガイドブック」、「はぐくみネット事業」について情報提供を行った。